

# KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])  
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名		科目コード	単位数	開講期
チェンジマネジメント特論 1		Z 124	1 単位	2 学期
Change Management 1				
科目分野		課程領域		
経営戦略		イノベーションマネジメント共通科目		
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー		
山田英二 佐藤龍太郎	-	メールアポイントにて随時		

関連している科目(履修推奨科目)	
チェンジマネジメント特論 2	

## 授業の概要と到達目標

### 授業の主題と概要

チェンジマネジメントの本質は、バランスと個性性にある。  
 本科目は、「多彩なアプローチ・ゲスト」と、「自分で考える」授業である。本科目(特論1)は、「理論編」として構成する。  
 現在の激しい経営環境の中、多くの企業が業務改革に取り組んでいる。しかし、業務改革の計画を早く、着実に実行するための「変革のマネジメント」について十分な準備と知識ができていないため、元に戻ってしまったり、予測されたスピードで変革が進まないケースがほとんどである。現代経営の中核であるチェンジマネジメントの概念と基礎知識を修得し、今までの業務改革の成功要因および失敗要因をケーススタディを通して分析し、チェンジマネジメントはともより組織改革から知識改革までの成功のこつを見極めるための現実感とノウハウを学ぶ。

チェンジマネジメントの全体感をつかむため、ケースメソッドを中心とした参画型の授業を行う。

- ① そもそもチェンジマネジメントとは何か?(コンセプトの理解)
- ② 何故チェンジしなければならないのか?(企業を取り巻く環境、企業の慣性)
- ③ どのようにチェンジするのか?(ビジョンの設定)
- ④ 目標をどう達成させるのか?(流れの把握、変化の予測)

### 到達(修得)目標

チェンジマネジメントはともより組織改革から知識改革までの成功のこつを見極めるための現実感とノウハウを修得する

### 受講対象者

経営企画担当者、組織企画担当者、IT コンサルタント、プライベートエクイティ  
 業務責任範囲: 事業構造・業務プロセスの変革、新IT システムの導入、企業合併後の事業・組織統合

### 履修上の注意事項やアドバイス

- ※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。
- ※ 担当する教員は実務家教員とする。
- ※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

### コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー	○	Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	○
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力		X2: 構想	○
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力	○	X5: 変革	○
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

### プラクティカム

イベント / ケース	教育技法	マテリアル / ツール
1 独自コンテンツの講義・ディスカッション	講義/ディスカッション	PPT など/当日配布予定
2 事例: 東ハト	ディスカッション/ケーススタディ	資料は後日提示
3 事例: 星野リゾート	ディスカッション/ケーススタディ	資料は後日提示
4 事例: 日産 (ビジョンとその周知徹底)	ディスカッション/ケーススタディ	資料は後日提示
5 議題: フェアプロセス(自発的変革を促す方法論)	ディスカッション	資料は後日提示
6 テスト: ケース分析	変革事例の分析	資料は後日提示

評価の方法		
(総合評価項目と割合)	評価の要点	
出席・受講態度、提出物、講義中の貢献度	70%	毎回、事務室より出席簿を準備する。
グループ発表及びテスト	30%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	「企業変革力」ジョン・コッター(日経BP、2002) 「イノベーションのジレンマ」クレイトン・クリステンセン(DHBR、Jun. 2013) 「これから始まる新しい組織への進化」ジョン・コッター(DHBR、Mar. 2013)	
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	「企業変革ノート」ジョン・コッター(日経BP、2001) 「お菓子を仕事に出来る幸福」東ハト編(日経BP、2004) 「ルネッサンス」カルロス・ゴーン(ダイヤモンド、2001)	
参考URL		
適宜紹介予定		

※講師担当回や事例を変更する場合があります。

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	チェンジマネジメントとは何か？ チェンジ・プロセスを分析する(1) 事例:東ハト	別途配布する質問票への回答	山田	180分
	イベント   ミニプレゼンテーション(質問票に基づく) / ディスカッション			
3.4	チェンジ・プロセスを分析する(2) 事例:星野リゾート 変革の事例研究(文献) 事例:日産(ヴィジョンとその周知徹底) 議題:フェアプロセス(自発的変革を促す方法論)	別途配布する質問票への回答	山田	180分
	イベント   ディスカッション			
5.6	変革の事例研究(匿名の実例をベースに変革の実際を紹介)	当日配布する資料に基づき、変革の事例を分析する	佐藤	180分
	イベント   各自ケース課題に取り組む / ディスカッション			
7.8	テスト:ケース分析 (ケース分析の後、質疑応答を含む) テストの解説・ディスカッション コースのまとめ	事前課題(後日指示)を読みポイントを各自まとめておく	山田	180分
	イベント   ミニプレゼンテーション(質問票に基づく) / ディスカッション			

※ 講義日程は、学事ポータル上の講義日程表をご参照ください。

※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。

※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。